

## なのはな通

ります。

校長室だより No. 18 平成 25 年 1 月 11 日

## 感謝の心をもち、 自分をみがく 始業式の校長式辞 (一月七日)

二〇一三年癸(ミズノト)巳 (み・ヘビ) 年

ましょう。今日から、三学期がスタートします。そこで、校長先生の好きなオアシス言葉のことを話します。 ある場所のことを言います。オアシス言葉もとても大切な言葉です。 新年明けましておめでとうございます。 **オアシス**は、砂漠やステップという乾燥地域の中にある、人や生き物が生きていくためになくてはならない真水が みんなの引き締まった顔がとても素敵です。今年一年の自分の目標をもち

は**ス「すみません**」という言葉です。私は、この言葉は**感謝の心**から生まれたのではないかと思っています みなさんは次のことを考えたことがありますか。朝、さわやかに目が覚め、おいしくご飯を食べ、元気に学校に行 つ目の才は「おはようございます」。二つ目はア「ありがとうございます」。三つ目はシ 「失礼しました」

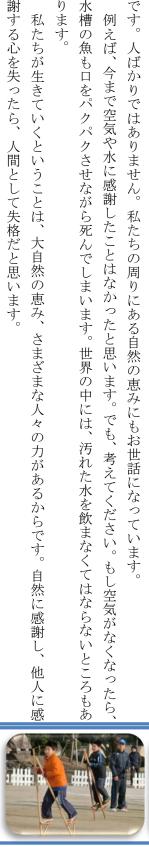
けることがどんなにありがたいことか。いったい誰のおかげでしょうか。親に感謝し、友だちに感謝し、先生に感謝 たり前のことでしょうか。 したことがありますか。おそらくみなさんは当たり前なことだと思っているのではないでしょうか。でも、本当に当

です。 健康で学校に来られることがどんなにありがたいことかをよく考えてほしいと思います。 い子もいます。食べるものがなく死んでしまう子も大勢います。体が弱く、学校に行きたくても行けない子もいます。 例えば、今まで空気や水に感謝したことはなかったと思います。でも、考えてください。もし空気がなくなったら 人間はたった一人で生きていくことはできません。みなさんが気付かない多くの人たちに支えられて生きているの 1界に目を向けてみると、みなさんと同じ年ごろの子でも、まだ自分から起きて自分の足で一度も歩いたことのな 人ばかりではありません。私たちの周りにある自然の恵みにもお世話になっています。

謝する心を失ったら、 私たちが生きていくということは、 人間として失格だと思います。 大自然の恵み、さまざまな人々の力があるからです。自然に感謝し、 他人に感

だりすることができます。自然に感謝し、 学年に進級したり卒業したりすることができるように一生懸命に仕上げとしての学期を過ごしましょう。 スを言えるように、「自分の力を磨く」=「自分力」を高めることです。家づくりでいえば、仕上げです。それぞれの みんな元気に学校に来られました。誰のおかげでしょうか。学校に来ると友だちや先生と仲良く勉強したり、 最初に言った『オアシス』をいつでも言えるようになってほしいと思います。 家族のみんなや友達に素直に感謝できる人になってください 三学期の目標は、 オアシ 遊ん

《 本の紹介 》 はやぶさ 2592 日の宇宙航海記 講談社 1500 円







兀

第四 新春竹馬大会 回